

小金井市歌『光さす野辺』

林 望 作詩

信長貴富作曲

空よ この空よ

^{かが}耀やかな大空よ

^{はるあき} ^{とき}春秋の季はゆたかに

光さす野辺をめぐるよ

ああ美しい実りの^{まち}市に

いま生きる日々に幸あれ

^{その}苑よ この苑よ

^べ ^{ひろにわ}森の辺の広庭に

^よ ^よ世々遠く年をかさねて

家々の影もなつかし

ああ^{なご}和やかな^{まち}学びの市に

いま生きる日々に幸あれ

^{こがね}黄金の水は清らかに^わ湧き

野川の水は^{きら}燦めいてゆき

はけの道 ほとりたどれば

過ぎてゆく^{とき}時代のはるけさ

いのち ^{さき}幸わいて

賑やかな この街よ

春されば ^{さくら}桜咲き満ち

^{かぜ}風涼し木々は茂れる

ああ緑なす^{まち}憩いの市に

いま生きる日々に幸あれ

*注 幸わいて=豊かに栄えて

春されば=春になると